

## サステナブル社会と消費者

～市民・消費者を環境や人権配慮の行動に促すための方策～

サステナブル社会を実現するためには、循環型経済を大前提として、生産者（企業）と消費者（市民）の双方がどのように行動するかが重要です。

近年、生産者のサステナビリティや人権への意識と行動が変わってきていますが、消費者の購買行動はそれほど変わっていないようです。私たちは今、普段の買い物の際にどれだけ環境や人権のことを考え、行動に移しているかを問われています。

本フォーラムでは、消費者のサステナブルな行動を促すために尽力されている講師お二方をお迎えし、取り組みの紹介をいただいた後、企業や行政の視点も交えながら、消費者の行動変容を促すための具体策について考えます。ぜひご参加ください。

### 講師



総合地球環境学研究所 教授

浅利 美鈴 氏



株式会社日本総合研究所  
創発戦略センター グリーン・マーケティング・ラボ  
ラボ長／主席研究員

佐々木 努 氏

### 【講師略歴】

#### ・浅利 美鈴 氏

京都大学地球環境学堂・准教授を経て、現職。「ごみ」や「環境教育」「SDGs／持続可能なコミュニティ創出」などが研究テーマ。また、「びっくり！エコ100選」や「3R・気候変動検定」「エコ～るど京大」「京都超SDGsコンソーシアム」「京都里山SDGsラボ（ことす）」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく、実践・啓発活動や情報発信にも力を注いでいる。

#### ・佐々木 努 氏

2005年京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻修了。  
日本総研では、環境・エネルギー分野の事業戦略・事業開発支援に従事。  
現在は、生活者の意識・行動変容を促し、社会課題解決を目指す「グリーン・マーケティング・ラボ」を設立し、推進中。

### 次第

■ 挨拶・趣旨説明 後藤 健太 氏（APIR主席研究員、関西大学経済学部教授）、草郷 孝好 氏

■ 講演 ① 京都からSDGsを超える挑戦 浅利 美鈴 氏  
② “みんなで減CO<sub>2</sub>（ゲンコツ）プロジェクト”から生活者の脱炭素行動変容を考える 佐々木 努 氏

■ ディスカッション・質疑応答

司会：草郷 孝好 氏、パネラー：浅利 美鈴 氏、佐々木 努 氏



### 司会

関西大学 社会学部  
社会システムデザイン専攻 教授

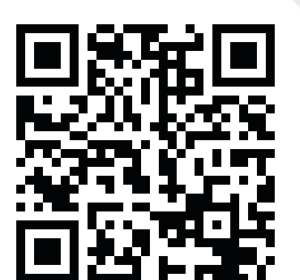
草郷 孝好 氏

お申込みはこちら

お申し込みの受付は

7月26日(金)17:00まで

となっております。



7月30日 火  
14:00～16:30



グランフロント大阪  
タワーC 7階 APIR会議室

対面 20名  
オンライン  
200名

参加費無料